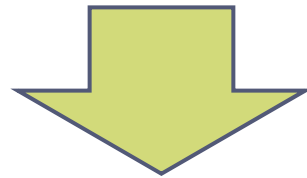


安全管理体制とリスクマネジメント

リスクマネジメントの基本的な考え

- ▶ 自分の組織を守る
- ▶ 社会や顧客等に被害を与えることのないようにする



利用者視点でのリスクマネジメント

何をしなければならないか

- ▶ リスクについての検討委員会の設置
- ▶ ヒヤリハットや事故についての認識
- ▶ 記録をとることに対しての啓発
- ▶ 事故防止のしくみ作り
- ▶ 事故が起こった時の対策作り

職員への周知・教育

重要なのは教育の実施

- ▶ 個々の職員や組織が、安全管理を意識的に行えるようになる教育を...
 - ①担う人は誰か
 - ②どのように推進するかが課題
- ▶ 指導看護師が担う役割を、自施設で明確にする
- ▶ 具体的なリスクの学習を職員とともにを行い、安全管理はどこまでできるか判断する

社会福祉施設のリスクマネジメント

- ▶ 高齢者施設の特性をとらえて考えると、生活そのものにリスクは存在するので、完全には排除できない

ご家族への説明・同意

リスクマネジメントの枠組み

- ①リスクを発見する
- ②事実を把握する
- ③要因を分析する
- ④具体策を考える
- ⑤マニュアル化 ⇒ 研修

ヒヤリハットとアクシデントの区分

分析するために...

どこまでがヒヤリハット
どこからがアクシデント

整理しておく必要がある

口腔内吸引で予想されるトラブル

- ▶ 呼吸状態が悪い・顔色が悪い
- ▶ 出血している
- ▶ 嘔吐した
- ▶ うまく吸引ができない
- ▶ 痰の性状が違う
- ▶ 吸引器がうまく作動しない 等

経管栄養で想定されるトラブル

- ▶ PEGが抜けそうになっている
- ▶ 出血している
- ▶ 嘔吐した
- ▶ 顔色が悪い・苦しそうにしている
- ▶ 不快を訴える
- ▶ 漏れ
- ▶ 腹部の不快・痛み

リスクマネジメントの進め方

- ▶ 具体的なチェック項目を提示して教示しなければ、「危険」か「安全」かの判断はできない。
- ▶ リスクマネジメントを推進するには、吸引・経管栄養それぞれについて、ステップごとの手順を明示しなければならない。
- ▶ テキストの活用であったり、自作の手順表を作成したり、各人の工夫が必要。